

第2章 滞在日程

第1日	7月10日（火）	Asiana Airline 0Z0116 便にて 関西空港着 阿武野高校各ホストファミリー出迎え
第2日	7月11日（水）	阿武野高校ステイ①
第3日	7月12日（木）	阿武野高校ステイ②
第4日	7月13日（金）	阿武野高校ステイ③
第5日	7月14日（土）	阿武野高校ステイ④
第6日	7月15日（日）	阿武野高校ステイ⑤
第7日	7月16日（月）	ホスト交代（阿武野高校→北野高校）
第8日	7月17日（火）	北野高校ステイ① 午前 オリエンテーション 昼休み 生徒集会にて紹介 午後より 授業体験
第9日	7月18日（水）	北野高校ステイ②
第10日	7月19日（木）	北野高校ステイ③
第11日	7月20日（金）	北野高校ステイ④ 放課後 farewell party（六稜ホールにて）
第11日	7月21日（土）	終日各ホストファミリーと共に
第11日	7月22日（日）	Asiana Airline 0Z0111 便 関西空港発帰途に

第3章 交流の日々

1 Matson & Sさんご家族

THANKS Matson!

2年 S.S

Matson のホームステイの受け入れが決まったのは急だった。突然の1通のメールから、急遽受け入れることになった。意外に乗り気な母に、なんとなく「いいよ」と言ったのがはじまりだった。

話がどんどん進んでいき、マジな感じになっていき、英語がそれほど得意ではない自分には、ただただ不安がつのっていただけだった。

がつのっていただけだった。

Matson と最初に会ったのは、自分が試合から帰ってきた夜だった。リビングのソファで、Matson と近所に住む祖母が楽しそうに話していた。それを見た瞬間、英語が苦手という不安は消えた。

Matson はたった2年間しか日本語を勉強していなかったが、自分よりも日本語が上手な気がするほど上手で、きれいな日本語だった。自分は何年間も英語を勉強してきたのに、と思うと、少し情けなくなった。

Matson はアルバイト代で買ったという iPad を持っていて、かなりハイテクな男子だった。二人で何度もゲームをやったが、一度も勝てなかった。スカイプを使って、両親としゃべったりもしていた。

次の日の朝、初めて学校に行くとき、Matson は満員電車にひどく驚き、暑さで倒れそうって言っていた。Matson ボーリングが好きで、ホームステイ中に2回もボーリングへ行った。しかも、めちゃくちゃ上手かった。

Matson のホームステイ中は、毎日、自分の家に友達が来てくれた。Matson は夜10時には寝ると、阿武野高校のホストファミリーから聞いていたけど、だいたい11時半、友達4人が来たときは、6人で祖母の家に泊まりに行き、夜中3時半ごろまで起きていた。そこで、みんなと打ち解けたみたいで、Matson も一緒にはしゃいでいた。そして、次の日の授業は寝まくったらしい。

クラブ帰りに、塚本神社の夏祭りにも一緒に行った。夜店でスパーボールすくいをしたり、かき氷を食べたり、全然知らない地元の人としゃべったり、おみこしを見たり、初めてのものが多く、Matson はすごく楽しそうだった。その日の夕食は Matson が母にリクエストしたカレーだった。(学食のカツカレーを気に入って、何回も食べていた)

唯一授業がなかった土曜日は、自分もクラブを休ませてもらい、両親と4人で、大阪城、通天閣に行き(京都、奈良、USJは阿武野高校ホームステイ中に、もう行っていた)梅田をぶらぶらし、友達と合流しボーリングに行き、夜は家族で串カツ屋に行った。自分で揚げることや、いろいろなものがあることに驚き、喜んでいて。帰りに100均にも行った。この日は、かなり大忙しの1日だった。

その夜は、次の日が別れというのに、Matson は荷物をつめると、相変わらず12時前に寝た。次の日の朝、Matson はいつもどおり朝シャワーをし、家族と祖母も一緒に関西国際空港に向かった。空港で先生方や Matson と同じ Kentwood 校の Kianna のホストファミリーと一緒に、帰国を見送った。あっけなく Matson と別れてすぐさびしかったけど、すぐLINE がきて、今でも時々連絡を取り合っている。

今回、急な流れで受け入れることになったけど、実際に英語で話すという貴重な経験ができてよかった。

た。Matson と絡んだ友達も最初は英語で話すのを躊躇していたけど、Matson の気さくで明るい性格にふれ、最後にはみんな一緒にわいわい楽しく騒いだりはしゃいだりできた。正直、大変なこともあったけど、最初に感じた不安は全く忘れて、楽しい 1 週間だった。そして、ちょっとだけ自分の英語力に自信が持てた。

ありがとう、Matson!

Matson のホストファミリーをお引き受けして

S (保護者)

ホストファミリーの打診があったのは、4 名の留学生うち誰を受け入れるかという抽選会の前日でした。あまりに突然のことでしたが、S と S の姉・A に話してみたところ、意外にも「いいよ」との返事。仕事上の主人にも急ぎ連絡をとり、30 分後には、お引き受けする旨のお返事をしていました。

UBC (バンクーバー) での 8 ケ月間の留学を終えて、春に帰国したばかりの A が (寮生活ではありましたが) 現地でいろいろな方にお世話になったことを、こういう形でご恩返しさせていただくことが、また別の意味での国際交流ではないか、という思いと、海外生活経験もなく普通のマンション住いでも、ホストファミリーはできるんだ、という例を作ろうという意気込み。そんな勢いで決めてしまい、後になって現実的なことを考えると、不安が湧き出てきました。一番長い時間接することになる S が日増しに重苦しい態度になってくるのもわかり、こんな状態では Matson に楽しく過ごしてもらえないのではないかと心配になってきました。

Matson は、日本語を学ぶコースに在籍し、生徒会長もつとめるイケメンくんでした。予想以上に日本語を話し、理解できるので「日本語で内緒話にはできないね」と笑ったほどでした。会話はなんとかなるのですが、名詞、特に食材名など、そのたびに辞書をひいていると、Matson が私の iPod Touch に英語辞書のアプリをダウンロードしたら、と勧めてくれました。(早速、ダウンロードして活用しました) 自宅内は Wi-Fi 環境でしたので、Matson も持参した iPhone や iPad が自由に使え、よかったようです。

空いている個室にエアコン設備がなく、Matson には S のロフトベッドを使ってもらい、S はその下のスペースに布団を敷いて寝ました。

翌朝、二人はお弁当を持って登校していきました。何か楽しそうにおしゃべりしながら歩く後姿をベランダからそっと見送り、胸をなでおろしました。

その日から連夜、S のクラスメイトやテニス部のお友達が泊まりに来てくれました。学校ではカリキュラムに添っていろいろなクラスを移動するため、なかなか親になる時間もないようでしたが、わが家で一緒に食事し、おしゃべりし、テレビを見たり、ゲームをしたり、・・・普通に楽しくはしゃいでいて、Matson が留学生であることなど忘れてしまいそうでした。ただ、北野生には通常の学業があり、テスト前夜などは、わいわいしながらも、一方ではテキストを開いたり、枕元に置いてあったりして、さすが!! と感心しました。

4 人で来てくれた日は、Matson、S と 6 人で、近所の祖母宅へ行き、さながら合宿のようでした。祖母宅で Matson に、床の間や茶箆箆のある和室に布団を敷いて寝る経験もしてもらえました。祖母は、Matson が仏壇を見つけると、すぐに手を合わせてくれたことに感激していました。

前の説明会で「普段通りの生活で受け入れをお願いします」と言われていましたが、なかなかそうもいきませんでした。食べ物の好き嫌いはない、と聞いていましたが、実際は魚介類は全くだめ、また説明しても手を付けてもらえないものもありました。あの猛暑、緊張続くハードな毎日、やはりきっちり食事をとってもらわないと「日本のお母さん」は心配なので、絶対食べてもらえるもの+挑戦してもらいたいもの、の組み合わせで献立を考えました。たこ焼き（中身はウインナー）てんぷら、おそうめんなどは気に入ってくれ、初めてというさつまいもと、カレー（アメリカでは美味しくないそうです）は何度もリピートしていました。飲み物は、終日、水かコーラ。近所のサーティワンに行ったり、かき氷、アイスリムも連日食べていました。また、夜にシャワーを浴びるという習慣がない、という国民性は、大阪の猛夏下でも貫かれ、ほとんど朝シャワーでした。また、よく言われる、自己主張が強い、はっきり物を言う、といったことは全くなく、いつも気遣ってくれ、また進んでお手伝いなどもしてくれ、わが子たちよりずっと優しい gentleman でした。

土曜日、Sはクラブにお休みをいただき、家族で大阪城、通天閣へ出かけ、十三以上にディープな大阪にも触れてもらえました。お昼はMatsonが好きなラーメン、餃子、夜は串カツのお店で外食しました。

翌日はMatsonを見送るために家族全員で関空へ。いよいよ、という時間が来たとき、真っ先に「お母さん」と一番涙もろい私にハグしてくれました。ホストファミリーのお話をいただいてからちょうど1ヶ月、Matsonがやってきてちょうど1週間。わが家の熱い夏が終わりました。

ホストファミリーは、その家族だけでできるものではありません。周りの多くの方々の支えがあつてこそ、無事やり遂げることができたと、今、あらためて強く実感しています。自ら手を挙げることは決してなかったであろう機会を与えてくださった学校、先生方、いろいろなアドバイスをくださったホストファミリー経験者のみなさま、Matson 滞在中、放課後や休日に一緒に遊んだり泊まりに来てくれたお友達とその保護者のみなさま、応援や激励してくださったみなさまがたには特に感謝の意を表したいと思います。ありがとうございました。

そして次の機会にも、わが家のような熱く幸せな経験ができるご家族が生まれることを確信しています。

2 Colin & Oさんご家族

ホームステイを受け入れて

1年 O.W.

五月頃、ホストファミリーの受け入れがあつて、僕は入学前から国際交流に興味があつたので、すぐに申し込みました。

ホストをする人がコリンと決まってから、僕はずっと自分の英語力で一週間すごせるかどうかということで不安で、仕方がありませんでした。

そして阿武野高校のホストファミリーの方に家の近くに来てもらいコリンと初対面。

とにかく背が高い！また、大人っぽくておどろきました。

そして最初に家の説明をした後ネイティブアメリカンの民芸品と魚の缶詰などをもらいました。

次の日から朝5時50分起床！コリンに朝起こしてほしいと頼まれていて、起こしに行きましたがか

なり眠そう・・・

通学中は電子辞書をつかいながらなんとか話せました。三限終了後にケント生から英語と日本語で自己紹介。コリンは日本語が上手で **exile** と「嵐」が好きと言いオーという歓声が湧いていました。

平日は放課後にたくさんのクラブを見に行っていて、僕の所属している吹奏楽部にも来てくれました。またエミリー(ケント生の一人)とドンキホーテに行き面白かったといっていました。またケント生全員と今年シアトルに行った 3 年生の方々と一緒にカラオケにもいきました。コリンは日本語で歌えていて上手い！

そしてクラブの友人と 10 人ぐらいでタコヤキを食べに行ったりして、あつというまに平日は終了！土曜日には家族で **USJ** に行き一日中遊びまくって、最終日の次の日は昼食で寿司を食べに行きその後は海遊館へ！ジンベエザメはもちろんたくさん写真をとっていて、シアトルのより断然いいと言ってくれました。

一週間は本当にあつというまでコリンに「もっと英語を上達させてシアトルに行く」という約束をして、さよならをつげました。こんな経験はめったにすることができないので積極的に応募してください！

この受け入れにご協力頂いた先生方、クラスみんな、ありがとうございました。

そしてシアトルに行けるように願っています。

ホストファミリーを経験して

〇 (保護者)

あつというまの一週間でした。我が家は子供が三人いてそれぞれに起きる時間も食事の好みも違うので、コリン君が滞在して、子供が四人になり、朝の準備がとても忙しく大変でしたがとても楽しく子供たちも喜んでいたので、ホストファミリーになって良かったです。

コリン君から聞いたシアトルのお話やご家族の写真がとても印象的でした。

特に感じたのが、高 1 の息子（最初から留学生の受入を希望していました）の英会話力の上達でした。

最初はコリン君とお話することがたどたどしく、文章で会話をしようと考えますが、すらすら言葉が出てこない様子でしたが、コリン君が帰る頃には自然に言葉が出てヒアリングもスピーキングもとてもスムーズにできるようになっていることに驚きました。

コリン君が帰ることをとても寂しがっている様子でした。

今回の留学生受入で、自分も必ずホームステイしたいという強い思いを持った様子でした。生活面では大変なこともありましたが貴重な経験が出来てとても良かったです。

☆今回の反省点☆

せっかく日本にきたのだからという思いで、コリン君がしたい事、欲しいもの、行きたいところに連れていく、全て叶えてあげるというスタイルをとり過ぎてしまった気がします。よく考えてみると相手は息子と同じ高校生の子供です。「これは高すぎて買えません」とか「我が家の時間があるのでここで切り上げて帰ります」とか息子と同じように我が家のルールを通した方が無理がなくてよかったと思いました。

コリン君が帰った後、大人（私と主人）二人が共にダウンしました（笑）。体力的にも経済的にも大盤振る舞い（過剰接待）した挙句あまり感謝されていない気がしました。（子供ですから当然ですけど・・・）

次回はこの経験を生かしたいとおもいました。

3 Emily & I さんご家族

エミリーを迎えて

1 年 I.G.

7 月 16 日の夜から 7 月 22 日まで、アメリカのセントウッド高校に通う Emily をホストファミリーとして受け入れました。

阿武野高校の方とホストチェンジをした時、互いにハグして泣いていたので、私もこれくらい仲良くなれるのかとても心配になりましたが、不安よりも楽しみの方が大きかったのですぐに仲良くなれました!とても人懐こかったです(´ω`)

初日は互いの家族の紹介をしました。エミリーは自分のノートパソコンを持ってきていて、それで家族の写真を見せてくれました。うちの妹や弟ともコミュニケーションをとっており、特に 5 年の弟は英語と似ても似つかない語でぺらぺらと話していました(笑)妹は今になっても元気〜?と聞いてきます。

アメリカの方では、車で 4 分のところに高校があるそうです。私は学校まで 1 時間ほどかかるので、通学で疲れてしまわないか心配でした。駅まで 20 分ほど自転車を使い、そこから 30 分弱電車に乗って高校まで歩くので、やはり疲れたようでした。エミリーが住んでいるところは、一番暑い時でも 24℃くらいだそうで暑さにも驚いていました。その一週間はだいたい 30℃を超えていました。

放課後は友達と梅田に買い物に行きました! 沢山買っていましたが、疲れていたようなのでゆっくり休んでもらった方が良かったかな、と反省しました。

次の日は、マンホールのお話をしました。私の住んでいる吹田は万博公園が有名で、マンホールには太陽の塔が描かれています。エミリーはホストチェンジする前に奈良に行っていたそうなので、奈良には鹿の絵が描いているよ、と説明したのですが…。アメリカは模様などが無いそうで、もしかしたら通じてなかったかも、とちょっとがっかりしていました。すると放課後に仲良しのコリンと一緒に十三を散歩していたらしく、帰り道にお城の絵が描かれたマンホールの写真を見せてくれました! 私のつたない英語が通じていたんだととても感激しました。他にも電線の話(アメリカは電線があまり路上に出ておらず、地下にあるそうです)や、道路と運転席が左右逆などの話もしました。

エミリーとの仲も少しずつ深まってきた木曜日。いつもと同じように帰っていると、エスカレーターの前でエミリーが急に止まって大笑いしました(;´Д`)! なにかと思っていたら、なんと最寄駅の案内板のエスカレーターのつづりが間違っていたようです(笑)。正しいのは escalator。案内板は escarator となっていて、なんども発音をしてくれました。

そしてその案内板を連写してまた満足そうに笑っていました(笑)。

学校に行くのは最終日! 雨だったので父に車で送ってもらいました。楽だね〜と話していました。学校と一緒にいくのも最後と思うと、寂しかったです。

その後解散するとき、1 駅ずつ降りていくみんなとハグをしていました。I' m sad…。と何度も涙を浮かべていました…。

最終日は google マップでエミリーの高校や家を見たり、アメリカと日本の違いについて話したり、本当にあったかくてゆったりした時間を過ごしました。手紙をあげるととても喜んでくれてこちらまで嬉しくて思わず二人で泣いてしまいました～。

部活で忙しいのを理解してくれたり、不安だっただろうに笑顔をふりまいてくれた優しい彼女に出会えて本当に、本当によかったです。席をゆずったり、ぱっと他人がおとした物を拾って渡すことのできるとても優しくてまっすぐな女の子でした！

良い機会をありがとうございました。

ホストファミリーを経験して

I (保護者)

異色的なアメリカの高校生が家に来て、小学5年生の子どもがとても喜んで興味津々でした。6日間の短い期間でしたがエミリーの存在は大きかったと思いました。3歳の子はエミリーが帰ったあとも「エミリーは？」とエミリーのことを尋ねたりしました。

3歳の娘の部屋が空いていたのでそこをつかってもらいました。平日は仕事のため遊びに行けず shopping ぐらいしか出来ませんでした。日本のおもちゃをみるのが楽しかったようでした。学校からGの友達が2回きて、エミリーと遊びました。彼女も夢中で遊んでいるようでした。言語は関係ないような印象でした。屋上で花火は少し風が強かったですが楽しかったです。家から山田駅までは新しい自転車でGと一緒に朝6:30に家を出ました。彼女はあまり自転車に慣れていないようでした。学校に行く二人の後ろ姿をみて、安全を祈りながらも2人がとても羨ましかったです。食生活は意外でした。エミリーが来る前日にはりきって大きな食パンを買って用意しましたが、全く口にしないでびっくりしました。うちの子にも人気がなく、結局私が全部食べました。うちの子と食生活はあまり変わらないようでした。ちなみにうちは韓国ですが、みんな一緒だなと思いました。

エミリーが去ったあともしばらく彼女の余韻が家に残っていました。短い時間でしたが、とても重要で貴重な時間でした。

4 Kianna & O さんご家族

Wonderful time with Kianna

1年 O.M.

留学生との交流は、私が北野高校で楽しみにしていたことの一つでした。なので、抽選に当たって留学生を受け入れることが決まった時には「やったー!!」と思いつつ、「留学生の子とはうまくやっていけるだろうか」「家で緊張せず、リラックスしてくれるだろうか」などの心配がありました。

そして、受け入れ当日。Kianna は、あんなに心配していたのがばかばかしく思えるくらい、元気でよく話してくれる女の子でした。そして何より笑顔が素敵！ 見ている方も思わず楽しい気分にしてくれる Kianna の笑顔は、日本にいる間ずっと消えることはありませんでした(^ ^)Kianna とはすぐに仲良くな

り、アメリカの高校のことや、将来の夢についておしえてもらいました。**Kianna** の夢は医者になることらしく、そのためにはどんな学部に行きたいかなどのことも考えており、私も見習わなければいけない、と思いました。また、食べ物に関しては日本食が食べられるかどうか心配していましたが、嫌いな食べ物はほとんどないらしく、なんでもチャレンジして食べてくれました。

次の日から一緒に登校。**Kianna** はとてもおしゃれで、メイクや服装に力を入れて出発しました。登校中、そして学校にいる時もずっと **Kianna** は日本の暑さにバテ気味でしたが……。日本の学校について聞くと、授業中に普通に寝ている人が多くてビックリした、ということらしいです(苦笑)。お昼ごはんは食堂の冷やしきつねを気に入ってくれたらしく、毎日食べていました。最終日にはクラスのみんなとなんでもバスケットをしたり、お別れ会をしたりして、あっという間に **Kianna** の北野での日々は過ぎていきました。

Hby 翌日の土曜日は、**Kianna** と自由に遊べる唯一の日。もっといろんな所に行きたかった!と思わせてくれる、素晴らしい一日でした。まずは、大阪城。日本のお城に興味があるかどうか少し心配でしたが、終始ニコニコしながら、写真を撮りまくっていました。中でも **Kianna** が一番喜んでいたのは、城内にあった戦国武将や浴衣の試着体験のコーナー。戦国武将のコスプレをしたときは、ポーズも表情もばっちり決めていました☆ 大阪城の後は、ショッピングが大好きという **Kianna** のため、あべの **Q's** モールに行きました。**Kianna** は大阪城で歩き回った後で疲れていましたが、フードコートでお茶をすると「充電完了!」と言わんばかりに元気回復。**Kianna** は本当におしゃれに興味があるらしく、**Q's** モールを思う存分満喫していました。夜は、串カツ屋さんで最後の晩御飯。食べ終わると **Kianna** は私に英語の略語やジョークをたくさんおしえてくれました。

こうして、**Kianna** と過ごす一週間は瞬間に終わりました。本当にあっという間で、もっともっと一緒に過ごしていたかったです。**Kianna** は、初めての日本で二週間も知らない人たちと生活して、きっと大変なこともたくさんあったと思うけど、それでも常に笑顔を絶やさずに明るく振舞ってくれて、感謝の気持ちでいっぱいです。**Kianna** は来年高校 4 年生で、もう留学生として日本に来ることはできないそうですが、だからこそ今度は私がシアトルに行けたらいいなと強く感じました。**Kianna** にも「次は **M** がシアトルに来る番だよ!」と言ってもらえて、もう行くっきゃない、といった感じです(笑)

最後に、この国際交流をサポートしてくださった先生方、先輩方、家族、友達みんな、本当にありがとうございました。

楽しかった **Kianna** との一週間

O (保護者)

我が家は、7 年前 (**M** が小学 3 年生の 5 月) に家族で **Seattle** に渡り、約 2 年間で過ごしました。帰国後も **Seattle** で知り合った友人とは、訪米すれば家に泊めてもらい、逆に日本に遊びに来た際には我が家に泊ってもらうなど、ほぼ毎年のように交流を続けています。学校からホームステイの募集があった時、どこの出身の生徒でも応募はしていたと思いますが、**Seattle** 近郊の学校からの来日ということで、是が非でもホストをさせて頂きたいと思いました。その強い思いが通じたのか、北野の女子生徒は 5 人ほど希望していましたが、女の子二人のホストファミリー枠に、運よく選んでもらうことができました。

我が家にステイする子は、**Kianna Hirai** というケントレイク高校の日系三世の女の子で、写真付きの

自己紹介の用紙からは、笑顔が素敵で元気な女の子という印象を受けました。アメリカからのゲストを泊めることには慣れていたのですが、今まで泊まったゲストはすでによく知っている友人であり、知らないゲストを迎えることは、我が家では初の体験でした。「どんな子が来るのか」、「早く会いたい」という色々な思いで対面の日を心待ちにしていました。

7月16日(月)、対面の日がやってきました。この日は祝日で、阿武野のホストファミリーと奈良に行っていたようです。今までの梅雨空と違って、暑い一日になり、Kiannaも奈良で日焼けしていました。すでに日本滞在も1週間近く過ぎ、疲れが見始める時期で、その上、暑い中一日歩きまわっていたので、ぐったりしているのではないかと思いますでしたが、写真通りの笑顔で挨拶をしてくれました。自宅に戻る車の中でも、色々話してくれて(日系三世ですが、日本語は簡単な挨拶程度で、会話は英語でした)、初対面だということを全く感じさせない子で、おかげでこちらも緊張がほぐれました。

Kiannaには、和室の部屋を用意したのですが、寝るときだけは、Mと一緒に寝ることにしてもらいました。理由は、節電対策もあるのですが、短い滞在期間に、少しでも早く親しくなればという思いがあったからです。阿武野のホストファミリーの家では、個室だったそうですが、Kiannaと一緒に寝ることに嫌な顔一つせず、それどころか、夜遅くまで二人の話声が聞こえ、楽しく過ごしてくれたようでした。

Kiannaは、身支度と寝るとき以外は、ずっとリビングで家族と一緒に過ごしてくれました。

7月21日(土)が、唯一Kiannaと丸一日一緒に過ごせる日でした。阿武野のホストファミリーとは、京都ではなく奈良に行っていたので、京都に連れて行ってあげたかったのですが、観光もしたいけどお土産などの買い物もしたいというKiannaの希望もあり、大阪城に行った後に、阿倍野キューズモールというコースになりました。午前中に大阪城に行き、建物や、天守閣からの景色を楽しんでくれましたが、一番喜んでいたのは、試着体験でした。復元された兜と陣羽織で戦国武将になって、写真撮影できるコーナーがありました。Mと二人で試着して、刀を手にポーズを決め、戦国武将になりきって、日本文化を楽しんでくれました。

今まで日本に来て我が家に滞在していったMの友達は、2週間以上という少し長い期間だったので、見送る時は、さびしい感情と共に無事に過ごせたという安堵感も大きかったのですが、Kiannaの場合は1週間ということもあり、寂しさばかりで、もっといてほしいという気持ちになりました。来年は、お父さんと一緒に、日本の親戚に会いに来ると行っていたので、次の再会を約束して、Kiannaを見送り、我が家のホストファミリーとしての一週間も終わりました。

今回は、貴重なホストファミリーという機会を与えて頂き、とてもいい経験ができ、大変感謝しています。ありがとうございました。

第 4 章 交流を終えて

(the impressions of the international Exchange Program in July, 2012)

The questions they are requested to answer are as follows:

- (1) Did your Kitano family accommodate all of your needs?
- (2) Would you prefer to stay with one family for your entire visit or not?
- (3) Though it was a short stay, what did you enjoy most with your Kitano host family?
- (4) What did you think of Kitano? What did you enjoy or what was difficult to do at Kitano?
- (5) Do you have any suggestions that could help to improve our exchange program?

Kei Higaki (Chaperon from Kentlake High School)

1. Unfortunately, I did not have a host family while at Kitano. The hotel accommodations were very nice. I enjoyed being close to the school, and it was fun to be able to walk around Juso area. However, I was sad that I missed out on sharing my experiences with a host family. I do understand that many of the teachers live far away, but it would have been nice to be able to spend time with other people.

2. It's hard to say if it would be better to stay with one family or two. The students were able to meet many people and see two different households and lifestyles. I know when students came to America in March, they enjoyed being able to get to know their one host family well.

3. I didn't have a host family at Kitano. I am looking forward to this weekend at Murakami-sensei's house. Also, every night different teachers took me to dinner, and it was fun talking with many different people and asking questions and learning about Japan and the Japanese mindset.

4. Kitano is a very nice school, and the students were very outgoing and friendly with my students. It was interesting and sad to learn about the students who died during WWII and to learn about the school's history. Visiting the various clubs after school was fun, but it was hard for my students to understand many of the classes they visited because they didn't understand the Japanese. We really enjoyed the chemistry lab we participated in. Our students were able to participate and join lab groups even if they didn't understand all the spoken directions. We are very grateful for the teachers who went out of their way to incorporate us into class activities, such as group discussions or reading aloud in English class.

5. I wish it would be possible to bring more students to visit Kitano High School. With only two students visiting per school, when we go back to America, they will have limited opportunities to share their memories and their learning with their peers back home. I understand it is a big imposition to host our students when we come, but I would love to allow more of my students to benefit from this wonderful exchange program opportunity. I am very grateful that Kentlake and Kentwood have such a strong bond

with our Japanese sister schools and that I was able to come to Japan this summer.

Students from Kentwood High School

Colin Hauck

1. My Kitano host family accommodated all of my needs and was very nice. We went to many places and I had a lot of good experiences.
2. I think staying with two host families is good because you get to experience two different schools and make lots of new friends. If you only stay with one family and go to one school, you don't get to see as many people but it would still be a good experience.
3. The things I enjoyed the most were going to karaoke and Umeda.
4. Going to Kitano was a good experience. I liked chemistry the most because we did an interesting lab. The English classes were a little boring, though. But overall, most of the classes were interesting.
5. To improve the exchange program, I recommend that you allow more delegates from Kent to come and to involve us more in the classes. In some classes, I just sat there and did nothing so I would like it if we were included more in what the class was doing.

Emily Gilbertson

1. My Kitano host family definitely accommodated in full. They made me plenty of great food and were extremely friendly toward me. They also made sure to show me around the house when I first arrived and helped me if I forgot where anything was. They were generous and spoke great English when I didn't fully understand what they were saying in Japanese. They made me feel welcome and all of my needs were met right away.
2. I would prefer to stay with one host family because it gives me time to bond. With them, though the goodbyes are sadder, my time at Kitano just wouldn't be the same if I had to divide my time between two host families. Plus, it's difficult enough to move around and repack my suitcases, not to mention having to leave my newfound friends. Even though it might be nice to meet another loving family, one family is just fine with me.
3. I just enjoyed spending time with my host student and her friends. Even though we went to many places, like the aquarium, I liked the little things we did the most, like playing monopoly and cards with my student and her siblings and friends. It was also fun to ride a bike and take the train to school, even if it meant getting up early, because that was an experience that I could never have in America.

4. I think that Kitano is a very intellectual environment and I had a fun time seeing what class was actually like in Japan. I enjoyed my days at Kitano even though some of the classes weren't easy to understand. All of the students were kind and tried to help when they could. I also appreciated that we were allowed to go back into an air conditioned room to sleep or relax if we were tired or just needed a break. The teachers at Kitano really cared about us but were also very focused on teaching and sometimes didn't have the time to always interact with us, which I was okay with. As I said above, the students were really kind to all of us and spoke excellent English. I felt really at home at Kitano and enjoyed my stay here.

5. Some suggestions that I have to improve the program are that we are given a list of after school club activities and their locations so we could find the things that interest us if our hosts have clubs and can't spend time with us. Also, because Japan is very hot, some available bottled water would have really great. But despite those minor things, I really loved Kitano and had an amazing time.

Students from Kentlake High School

Kianna Hirai

1) My Kitano family accommodated all my needs. They were very hospitable. The Omura's treated me like a member of their family. They were very patient with me and they always made sure I was comfortable and had everything I needed. I am really happy I got to stay with Omura's and have this experience.

2) I liked staying with one family. I feel that we don't get to really know our family and get comfortable until it is almost the end of our stay, so I think having two families would not work well because we wouldn't get to know either on a deep level.

3) We haven't done anything as a family yet outside of the house but I have enjoyed having family time although I do wish we would have gone on some excursions because I feel like I didn't get to do as much sight seeing as I could have done during my stay but overall, I very much enjoyed my stay.

4) Kitano is a very academic school. I can tell that the students work very hard and I thought it was very cool that there is a time set apart for the students to clean the school. I think it makes the students appreciate the school and take care of it. I think we should have days like that in America. I enjoyed the freedom that was given to us but I also wish we would have had a more set schedule with activities to do. I also wish we would have been involved more in the classes we went to. Some of the classes we were in did not involve us or really acknowledge us. I think if we were involved more we would have had a better understanding of what was happening and we would have gotten a better experience of what it is like to be a student in Japan. Understanding what was happening in the classes was the most difficult for me.

5) I think that an improvement that could be made to the exchange program would be to allow us (Kentwood and Kentlake) to send more delegates, because during the Spring exchange this year when

Kitano and Abuno students came to Kent, there were a total of nine students, five from Kitano and four from Abuno. Another suggestion would be to give us more activities to do after school or something preplanned.

Matson Pothier

- 1) Yes, they were very generous. They made me breakfast, lunch and dinner. Whenever we went out they would always pay for me, it was nice, I felt like part of the family.
- 2) Yes, one week is a short times, and its takes a couple of days to adjust and become comfortable with your host family, if we split the week into two families it would feel awkward and rushed.
- 3) Hanging out with all of his friends, my stay at Abuno High School had more of a tourists feel to it, and while fun, it was nice to stay home and hang out with kids my age that I can relate with, I've made some amazing friends that I will never forget.
- 4) I really enjoyed the days that we got to spend at Kitano, I enjoyed that variety of classes that we got to take. However, some of the classes, like Math, have very little delegate involvement and was hard to understand because the lecture was in Japanese. I did like Chemistry, PE, Music, Reading, Writing, and Homeroom because the teacher went out of their ways to involve us in that lesson that day, which I really appreciated.
- 5) It would be nice to expand the exchange program. I know that last spring, Kitano sent five student to Kentwood alone and then we only send four from Kentwood and Kentlake combined. This is such an amazing experience that I wish more people who wanted to come, from America, could have the opportunities, too. Also I think it would be nice if there could be some activities available to the delegates for after school. All of our hosts had club until six, so we had to find something to do until then.